



七松小学校 学校だより

令和元年度
11月号
尼崎市立七松小学校
学校長 森本秀子

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



心豊かに それぞれの実りの秋を

ーオープンスクール参観、ありがとうございましたー

朝夕、肌寒さが感じられる頃となりました。10月に実施しましたオープンスクールには、多数の保護者の皆様、地域の皆様が参観してくださり、本当にありがとうございました。いただきましたアンケートは全職員で拝見し、来年度の参考にさせていただきます。教室では、来る11月22日(金)・23日(土)の図工展に向け、作品の仕上げに子どもたちは頑張っています。そして11月14日(木)は4年生が尼崎市音楽会(あましんアルカイックホール)に出演します。今、本番に向けて、一生懸命練習を重ねている所です。ぜひ、ご家族おそろいでご鑑賞くださいますようお願いいたします。

さて、実りの秋がやってきました。スポーツでは、なんと言っても、ラグビーW杯。テレビの前で応援された方も多かったのではないのでしょうか。桜の挑戦は、日本中を湧かせました。世界の強豪を相手に一步も引かず、4強は逃しましたが、日本は決勝トーナメント進出という過去最高の結果で大会を終えました。4年間全てを犠牲にして頑張った一人ひとりの強さが結集して「ワンチーム」として花開きました。「みんなにありがとうと言いたい」との選手の言葉が心に残っています。子どもたちに、努力することの大切さ、仲間を信じる心、そして何より、大きな夢を与えてくれました。

また、吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞するという素晴らしいニュースもありました。スマートフォンなど身の回りの電子機器に使われている、「リチウムイオン電池」の開発が、モバイル時代を切り開き、環境問題にも貢献したとして高く評価されました。吉野氏が最初に科学に興味をもったのは小学4年生のころ。きっかけは、担任の先生が教えてくれた英国の科学者ファラデーの著書「ろうそくの科学」の本でした。ろうそくが燃える現象を説明する内容で、本屋で手に入れてよみふけり、「ろうそくはなぜ燃えるのか。なぜ炎は黄色いのか。ろうそくの芯は何のためにあるのかと、子ども心に何か面白そうだなと思った」と会見でふり返られました。一冊の本にはそういう力があるのですね。いよいよ、読書週間が始まります。ドイツの文豪ゲーテは、名作を読むなど、良い習慣を身につけることをすすめていました。そうすれば、「その習慣によって楽しい日には自分の喜びをさらに深め、悲しい日には立ち直ることができる」と。「読書するくせ」「いつも本を手にする習慣」が身につけば、一生涯賢く、たくましく生き抜く力となります。学校の図書室や図書館を上手に活用して、たくさんのお本と出合いしましょう。

「秋」は何をするにも良い季節です。それぞれの実りの秋を心豊かに過ごしましょう。

【職員紹介】

3年2組担任の、白神佑季先生が、出産のため11月2日より産前休暇に入ることになりました。後任に松本みゆき先生が着任します。よろしくお願いいたします。